

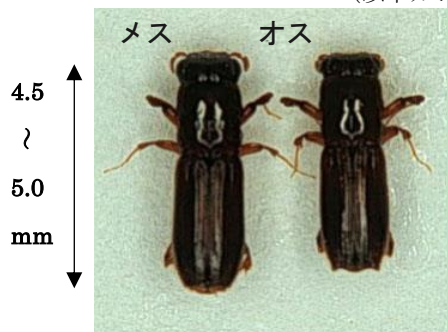
ナラ枯れ被害の 情報提供にご協力下さい



※1 一般社団法人日本森林技術協会 福沢朋子 氏提供

ナラ枯れとは、
カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によって
コナラ・ミズナラなどが枯れる伝染病です。

カシノナガキクイムシ
(以下カシナガ)



※体長はわずか 4.5～5.0 ミリメートル程度

「森林総合研究所関西支所より」

- 令和 2 (2020) 年度以降、栃木県の県南部を中心に被害が拡大していることから、今後の被害拡大に注意が必要です。
- 被害の拡大を防ぐために、ナラ枯れ被害の疑いがある樹木を見かけたら、お住まいの市役所・町役場、または環境森林事務所等までご連絡下さい。

〈お問合せ先〉 矢板市内の被害情報提供

・ 矢板市経済部 農林課林政推進室 電話：0287-43-6210

又は

・ 矢板森林管理事務所 電話：0287-43-0294

栃木県環境森林部森林整備課森づくり担当

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028-623-3296

E-mail: shinrin-seibi@pref.tochigi.lg.jp

ナラ枯れ被害の特徴

- ・ コナラやミズナラの高齢化した大径木に多く発生します（稀にクリ・クヌギ・シイ・カシにも）。
- ・ 根元に大量のフラス（虫のフンと木くず）がたまります。
- ・ 8月頃に葉が赤褐色に変色します。



根元に大量のフラス

ナラ枯れ発生のメカニズム

